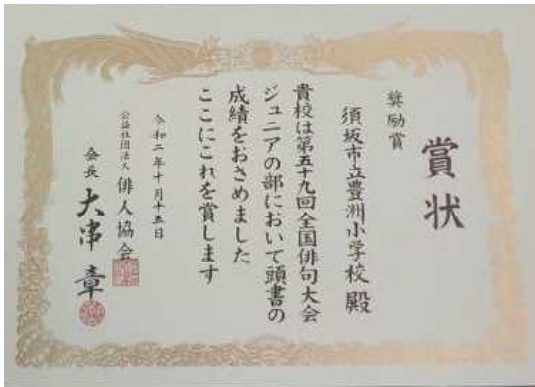


全国俳句大会で「奨励賞」をいただきました！



今年は、新型コロナウイルス感染防止対応に追われた年と言っても過言でないと思います。様々な活動が制限され、人と人との関わりも少なくなってしまい、暗いニュースが多かった一年でした。そうした中、嬉しいニュースが学校に飛び込んできました。この度、俳人協会主催の全国俳句大会で「学校賞」に次ぐ「奨励賞」をいただきました。「学校賞」「奨励賞」共に全国の小学校で4校ずつ選ばれます。その1校に豊洲小学校が選ばれたこととなります。本校は、俳句学習に力を入れ、毎年多くのコンクールに子どもたちの作品を出展しています。

俳句集を作るようになってからも20年余りが経ちます。子どもたちは、俳句作りを通して季節を感じ、心を豊かにして、言葉を大切にすることができるようになっています。これからも本校の伝統として大切にしたい学習です。

読書旬間（12/7～12/18）



今月は、読書旬間が行われました。旬間中、朝の活動は読書となり、図書館では2冊貸出を行い、家庭では「読書の木」に取り組んでいただきました。ご協力ありがとうございました。例年ですと、旬間中に読み聞かせボランティア「たんぼぼの会」



職員による読み聞かせ

の皆さんが来校し、子どもたちが楽しみにしている読み聞かせの会を開いてくださいますが、今年はコロナ禍で中止となってしまいました。職員によるお薦め本の読み聞かせは、例年通り行いました。子どもたちに題名だけ伝え、読み聞かせしてほしい本を選んでもらいます。人数の偏りを調整後、読み聞かせをする職員を発表。子どもたちは、朝のひとときをとっても楽しんでいました。活字離れが言われる昨今ですが、読書を通じて心が耕され、様々な力が身につきます。旬間は終了しますが、今後も読書の時間が少しでも多く取れるようお子さんに声をかけていただければ幸いです。

ベネッセ総合学力調査について

今年度は、6年生が毎年実施している全国学力学習状況調査が新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施されませんでした。ベネッセ総合学力調査（須坂市全校で実施）については、2～6年生が1学期末に実施しました。2学期に入って結果が届き、12月の個別懇談でお知らせしましたが「伸びるヒント」「保護者の方へ」等を参考にしながら、ご家庭でも、得意や苦手、勉強の仕方等、話題にいただければと思います。学校としては、3・6年生が国語・算数ともに全国平均を上回り、2・4・5年生は、国語・算数ともに全国平均を下回る結果でした。分析して見えてきた課題やさらに力を入れたい分野など、改善に向けて今後の指導に生かして行きたいと考えています。

☆コロナ差別と向き合う

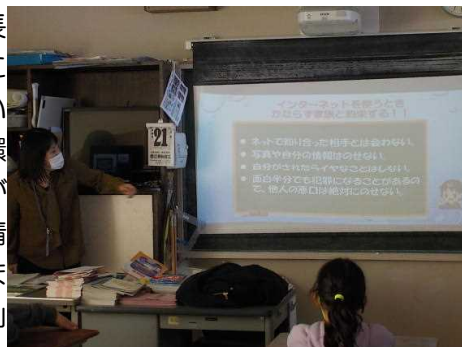
全国的に新型コロナウイルス感染者や医療従事者への誹謗中傷・差別が止まらない現状にあると報道で耳にします。また現在の感染拡大状況を考えると、いつ誰が新型コロナウイルスに感染してもおかしくない現状にあること踏まえ、学年の実態に応じて、「もし、自分の身のまわりの友だちが新型コロナウイルスに感染したら、あなたは、その友だちにどのように接することができますか」という問いを子どもたちに投げかけ、クラスで考え合う時間を取りました。「もしコロナにかかった友だちがいたら、避けたり、悪口を言ったり差別をしないようにしたい。」「学校に出てきたら大丈夫と声をかけてあげたい。」「差別する人がいたら注意したい。」など、子どもたちは、担任の話や動画資料、友だちの考えをもとに、感染した友だちの気持ちを想像し、自分が取るべき行動を真剣に考えていました。

感染拡大が止まらない現状の中で、自分がかかるかもしれないという思いは、多かれ少なかれ誰もが感じていることと思います。だからこそしっかりとした感染防止対策を行い『正しく恐れる』ことが今は必要なのだと思います。大人から子どもへの不用意な情報発信がもとで、コロナ差別が生じてしまうことだけは避けたいものです。

新型コロナウイルスがもたらす「3つの感染症」という言葉があります。①生物学的感染症：ウイルスによって引き起こされる「疾病」そのものです。②心理的感染症：見えないこと、治療法が確立されていないことによって引き起こされる「不安や恐怖」③社会的感染症：不安や恐怖から引き起こされる「嫌悪・差別・偏見」です。感染を予防するために人との距離を取るようになったのは仕方がないことです。ただそれによって人間同士の絆が「分断」されてしまうのは残念なことです。コロナ禍の今だからこそ、様々な立場の方へ寄り添い、皆で支え合って乗り越えていけるよう心したいと思います。

☆人権学習会『スマホ・ネットの注意点』

11月の参観日に人権教育講演会の講師としてお願いしていただいた長野県警察本部生活安全部少年課スクールサポーター山田恵津子先生にご来校いただき、4・5・6年生が、スマホやネットの注意点について学びました。スマホやタブレット・パソコンがなくても、Wi-Fi環境さえ整っていれば、今はゲーム機でネットの世界につながることができます。使い方を間違えれば、人権を侵害したり、高額なお金を請求されたりします。“そんなことになるとは思わなかった”では済まされない事例の数々、そして、その責任は保護者の方が担うことを山田先生から教えていただきました。犯罪の加害者、被害者とならないために、どのようなことに気をつけていけばよいか、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。



☆インターネットを使う上で大切にしてほしいこと（山田先生より）①インターネットは親の前で使う。②ネットで知り合った相手とは会わない。③自分がされたいいやなことはしない。④面白半分でも犯罪になることがあるので、他人の悪口は絶対に書き込まない。家庭でのルールを改めてご確認ください。

☆お知らせとお願い

- ・高山村にある株式会社ナカトミ様より、須坂市内の小中支援学校に、レギュラーサイズの不織布マスクを寄付していただきました。コロナ禍の折、マスクは必需品となっており、たいへんありがたく思います。本校では、児童ひとりに35枚ずつ、お子さんを通してお配りしましたのでご活用ください。
- ・新型コロナウイルスの感染者が急増しています。家庭内感染の割合も非常に高くなっています。人と会い、会食の機会が増える年末年始です。感染防止に十分努めていただくよう宜しくお願いします。学校は、12月29日（火）より1月3日（日）まで閉庁となります。期間中、新型コロナウイルス感染症に関わる心配事、大きな事故・ケガ等は、須坂市役所245-1400へご連絡をお願いします。その期間以外の12/28（月）、1/4（月）～1/7（木）は、当番職員が8:15～16:45まで勤務していますので学校にご連絡ください。